

呼吸器・胸壁Ⅱ 【Respirology Ⅱ】

担当責任者 教授（第2外科学） 田中 文啓

ねらい

呼吸器系は常に外界と接し、環境や職業、生活習慣の影響を受けやすい臓器である。

1. 呼吸器系および胸壁・乳腺の解剖と生理、防御機能を正しく理解し、疾病の発生機序を学ぶ。
2. 呼吸器・胸壁・乳腺疾患の特徴と病態を理解し、診断法を身につける。
3. 呼吸器・胸壁・乳腺疾患の特徴に応じた治療と予防の体系を習得する。
4. 呼吸不全の原因と病態を理解し、呼吸管理について学ぶ。

学修目標

1. 基本的な診察法が実施できる。
2. 主要な呼吸器・胸壁・乳腺疾患の原因、病態、生理、鑑別すべき疾患を挙げることができる。
3. 主要な検査法の原理、方法、適応を理解し、所見の解釈ができる。
4. 主要な呼吸器・胸壁・乳腺疾患の予防と治療法の基本について説明できる。

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

筆記試験により100点満点で60点以上を合格とする。

○教科書

矢崎義男編 「内科学」 第11版 2017年 朝倉書店 東京
南学正臣、他編 「内科学書」 第9版 2019年 中山書店
岡庭豊、他編 「イヤernote 内科・外科編」 メディックメディア 東京
鈴木洋宣、他編 「病気がみえる・呼吸器」第3版 メディックメディア 東京

○参考書

河野茂、他編 「レジデントのための呼吸器診療マニュアル」第2版 2014年 医学書院
A. P. Fishman ed. 「Pulmonary Diseases and Disorders」
McGraw-Hill Co. 第4版 2008年 N.Y.
Harvey I. Pass ed. 「Lung Cancer: Principles and Practice」
Lippincott Williams & Wilkins 第4版 2010年 Philadelphia
Thomas W. Shields ed. 「General Thoracic Surgery」
Lippincott Williams & Wilkins 第7版 2009年 Baltimore
日本乳癌学会編 「乳腺腫瘍学」 第1版 2012年 金原出版

4年次

呼吸器内科学

講義:2201講義室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目			担 当 者
				大項目	中項目	小項目	
			アレルギー・免疫関連呼吸器疾患	D	6	4	矢寺 和博
			慢性呼吸不全・睡眠時無呼吸	〃	〃	〃	津田 徹(学外)
			呼吸器感染症	〃	〃	〃	川波 敏則
			肺結核と非結核性抗酸菌症	〃	〃	〃	廣瀬 宣之(学外)
			びまん性肺疾患(1)	〃	〃	〃	山崎 啓
			胸膜疾患・縦隔疾患・胸膜中皮腫	〃	〃	〃	川波 敏則
			びまん性肺疾患(2)	〃	〃	〃	内村 圭吾
			COPD・嚢胞性肺疾患・禁煙指導	〃	〃	〃	吉井 千春
			肺癌の診断・治療	〃	〃	〃	浦本 秀隆(学外)

第2外科学

講義:2201講義室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目			担 当 者
				大項目	中項目	小項目	
			乳癌	D	11	4	田嶋 裕子
			乳腺良性疾患・胸壁	〃	〃	1,2,3,4	〃
			肺腫瘍(1)	〃	6	4	田中 文啓
			肺腫瘍(2)	〃	〃	〃	〃
			肺腫瘍(3)	〃	〃	〃	〃
			縦隔疾患	〃	〃	〃	〃
			肺嚢胞性疾患・胸膜疾患	〃	〃	〃	〃
			肺腫瘍(臨床講義)	〃	〃	〃	〃
			アメリカ留学と肺移植	〃	〃	〃	伊達 洋至(学外)
			胸膜・縦隔疾患(臨床講義)	〃	〃	〃	田中 文啓